

各病院における 2026 年～2028 年までのハード整備意向調査 記入要領

1. 調査の趣旨

- 本県では、地域医療介護総合確保基金（医療分）について、各医療機関・団体等から事業提案を募集し、事業を実施しています。
- 事業提案募集においては、毎年、次年度に実施する事業について新たな事業を募集しているところですが、今後の数年間における基金の必要額を把握し、県の基金予算枠にかかる財政当局との協議（9月）における基礎資料とするため、今後の各病院における長期的なハード整備予定について調査を実施するものです。
- ただし、地域医療介護総合確保基金は 2026 年度までとなっており、基金事業が延長されない場合もあることをご了承ください。

2. 調査内容

- 2026 年～2028 年までの間における地域医療総合確保基金を活用したハード整備の実施予定
※検討段階の内容でも結構ですので、該当がある場合は記載してください。
 （2026 年度の事業については、この調査での報告をお願いいたします。2027 年度以降の事業について、この調査で報告しなければ、今後の事業募集において応募できないということはありませんが、現時点で検討している内容がある場合は調査票をご提出ください。）

3. 調査票記入にあたっての留意事項

- 地域医療介護総合確保基金区分①-1 および①-2 については、地域医療構想の達成に向けた医療機関の事業縮小の際に要する費用や再編統合にかかる経費も対象となっておりますので、検討をお願いします。（詳細は別添「地域医療介護総合確保基金（医療分）に係る標準事業例の取扱いについて」参照）
- 整備内容については、下記内容を参考に記入してください。

整備内容	具体的内容	（参考）標準単価
ア 病床転換	病床の機能分化・連携を進めるための回復期病床の整備にかかる施設・設備にかかる経費	＜新築・増改築の場合＞ 1床あたり 9,000 千円 ＜改修の場合＞ 1床あたり 3,000 千円
イ 病床削減	地域医療構想の達成に向けた医療機関の事業縮小の際に要する費用（病床削減に伴い不要となる病棟・病室等をほかの用途へ変更するために必要な改修費用（機能転換以外））	1床当たり単価： （鉄筋コンクリート）5,022 千円 （ブロック）4,377 千円
ウ 再編統合	①再編統合等にあたって、医療機器やベッド等の備品を移転するために必要となる経費 ②再編統合等にあたって、患者の搬送、退院支援等を行うために必要となる経費 ③再編統合等に付随して一体的に行う医療従事者の宿舎、院内保育所等の施設設備整備費	－
エ その他	原則として、国が示す事業例に記載されている事業またはこれに準ずる事業	（国の標準単価に基づき、県で適切な単価を設定）